

平成29年度 施策評価表

課・グループ名	生涯学習課社会教育グループ
---------	---------------

作成年月日：平成30年 9月28日

施策名	3-(4)-① スポーツ・レクリエーション活動の充実		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(4) 健康な心身を育てるスポーツ・レクリエーション活動の推進	①スポーツ・レクリエーション活動の充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民が生涯を通じて、心身ともに健康な生活を送れるよう、身近にスポーツやレクリエーション活動に参加できる機会の拡充に努めます。 ● スポーツやレクリエーション活動を通じて地域間交流の活性化に努めます。 ● スポーツ少年団本部等関係団体と連携・協力し、幼少期からスポーツに取り組むことができる機会の拡充に努めます。 ● 体育施設の管理・運営を適切に行い、利用者の利便性の向上に努めます。 ● スポーツセンターをはじめとした体育施設の計画的な修繕等に努めます。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の健康に対する意識の高まりから健康維持や体力向上に向けた各種スポーツ教室・大会等を実施しています。 ● 生涯を通じてスポーツやレクリエーション活動に親しむ環境づくりに努めています。 ● 本町には、スポーツセンター（アリーナ・格技場・プール）をはじめとした体育施設があり、各種大会や体力・健康増進の場として多くの町内外の利用者に活用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民が気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しみ、健康維持や体力向上を目指すことのできる機会の拡充が必要です。 ● スポーツを通じて地域の交流や親睦を図るための環境整備や関係団体の育成・支援が必要です。 ● 全国的に子どもの体力・運動能力の低下が進む状況が問題視される中、幼少期からスポーツに取り組むことができる機会の拡充が必要です。 ● 安全で快適な環境でスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう適切な管理・運営が必要です。 ● スポーツセンターをはじめとする体育施設は、建設から年数が経過し、老朽化が進んでいます。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況										
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化			
	スポーツ大会等への参加や運営側のスタッフとして関わる町民など、スポーツを通じた町民同士の交流を図ることを目的とし、成果指標を設定している。			成果指標（総合計画・施策評価）			○	可能		
				スポーツを通じて交流した住民				不可能		
				代替指標 ※成果指標がない場合				未計測		
					可能					
				不可能						
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。										
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由			
		H26	H27	H28					H29	H33
	目 標	人	870	870	870	870			人口減少や少子高齢化が進み、各種スポーツ大会の参加者が減少したため。	
	実 績	人	878	845	848	686				
達成率	%	100.9%	97.1%	97.5%	78.9%					
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点				
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)		施策の達成度	人口減少や少子高齢化が進み、各種スポーツ大会への参加者数が減少傾向にあるが、幅広い層の方にスポーツを親しんでもらう環境を整備するため、今まで以上にスポーツ推進委員や関係団体と連携協力を図り、事業を実施していく必要がある。						
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)									
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)		B							
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)									

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H29実績	H30予算	
						単位							
1	スポーツコミュニティ推進事業	(1)	生涯学習課	町民を対象とした各種スポーツ大会を通じて交流のあった住民(参加者及び運営協力者)	870	人	・町民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ①全町ソフトボール大会 ②全町女性ミニバレーボール大会 ③全町ミニバレーボール大会 ④キャベッジマラソン大会 ・体育協会への活動助成・事業の支援	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	611	高い	
					686	人					635		
2	健康づくり・体力向上推進事業	(1)	生涯学習課	参加者数	2,970	人	・スポーツ教室等 ①町民歩こう会 ②新体力テスト会 ③チャレンジスポーツ(レディーススポーツ・室内パークゴルフ) ④フィットネス教室(チューブストレッチ&ヨガ、エアロ&ストレッチ、ソフトエアロ&ストレッチ) ⑤スイミングスクール ⑥アクアエクササイズ ⑦冬のウォーキング教室 ⑧ココカラトレーニング(新規)	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	2,402	高い	
					2,555	人					2,728		
3	子ども体力向上推進事業	(1)	生涯学習課	募集定員に対する参加率	90	%	・スポーツ教室等の実施 ①キッズスポーツ教室 ②キッズ水泳教室(H29廃止) ③小学生スキー教室 ④小学生水泳教室(夏休み) ⑤小学生スイミングスクール ⑥ジュニアアスリートクラブ(新規) ⑦スポーツ少年団(本部)支援事業 ・スポーツ大会等の実施 ①小学生水泳大会	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	2,838	高い	
					78	%					3,240		
4	スポーツセンタートレーニングジム整備事業	(4)	生涯学習課	トレーニングジム整備事業発注金額		千円	トレーニングジム整備のため設置場所の検討、器具の更新を行う。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続		高い	
						千円							

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H29事業費	5,851
H30予 算	6,603

②H30に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	幅広い層を対象としたスポーツ、健康増進のための運動を 推進するために、効果的な事業構成である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性	事業番号					平成30年度以降 の予算の方向性	
			A						拡大
			B						維持
			C	1	2	3	4	○	縮小
		D							